

平成28年6月24日(金)

産経新聞

号外

産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN
発行所 ©産業経済新聞東京本社2016
〒100-8077東京都千代田区大手町1-7-2
☎ 東京(03)3231-7111 (大代表)



英、EU離脱

国民投票僅差で

円急騰、世界経済に衝撃

【ロンドン＝岡部伸】英国の欧州連合(EU)からの離脱の是非を問う国民投票は24日、開票の結果、EUからの離脱支持

が残留票をわずかに上回り、英国のEU離脱が現実となった。EUの加盟国の離脱は、1993年の創設以来、英国が初めて。

東京外国為替市場では、2年7カ月ぶりに円相場が1ドル＝100円を割り込む一方、株式市場では日経平均株価が大幅に

下落するなど、英国離脱は世界経済に衝撃を与えた。投票は23日午前7時(日本時間午後3時)から午後10時(同24日午前6時)まで行われた。投票率は72・1%。直前の世論調査では、離脱、残留両派の支持率が拮抗していた。

開票作業は全英382カ所で行われた。ロンドン市内や北部スコットランドで残留支持票が多数を占めたものの、イングランド、ウェールズでは離脱派が大きく票を伸ばした。

東京外為市場では開票終了前から安全資産とされる円が急伸し、24日午前に一時1ドル＝110円を割り込んだ。正午現在、対円でドルが前日比約4・5%下落の101円30銭、ポンドが同約13・4%下落の136円90銭前後となった。

また、東京株式市場で日経平均株価の下げ幅が一時1300円を超えた。上海、香港などアジア市場でも指標が軒並み下落した。

国民投票の結果を受け、英政府は離脱条件などをめぐる交渉を開始する。残留支持の強いスコットランドでは、英国からの独立論の再燃も予想され始めた。



23日、ロンドンで、国民投票の開票状況を見ながら氣勢を上げる離脱派の若者たち (ロイター)



24日、ロンドンのロイヤル・フェスティバル・ホールで、不安そうに面持ちで国民投票の開票状況を見守る残留支持者たち (AP)

産経新聞 購読のお申し込みは ☎ 0120-34-4646

産経ニュース <http://www.sankei.com>